



◆（お家の方へ）三者懇談会ありがとうございました

お忙しい中、三者懇談会をありがとうございました。この懇談会で2月までの受験（受検）校が決まりました。出願書類として自己推薦書が必要な学校もあります。三者懇談会の中でも進み具合を確認しましたが、お家でも確認していただければと思います。また、出願の登録や支払いについても期限へのご協力をありがとうございます。愛知私学のWeb出願も始まりました。まだ手続きが終えられていない方についても引き続きご協力をよろしくお願いします。もしご不明な点などがありましたら、中学校までご連絡ください。

◆書類のやり取りについて

※三重県立高校の前期選抜を受ける人⇒清書した「自己推薦書」を提出してください。

※津田学園を「自己推薦」で受ける人⇒清書した「自己推薦書」を提出してください。

※津田学園を「私立専願」で受ける人⇒「専願・私立専願受験誓約書」を提出してください。

- 上の3つの出願書類は、**18日（木）**がしめ切りです。

※暁（3年制）の「検定資格者の入試試験加点制度」⇒該当する人は各自で進めてください。

※暁（3年制）を併願推薦で受験する人⇒必要書類をできるだけ早く提出してください。

※プリントアウトした「確認用紙」について **12日（金）**しめ切り

- 「受験手続依頼書（受験届）」と一致していなければ「確認用紙」を返却します。
 - ・修正した「確認用紙」を提出してください。返却した「確認用紙」は破棄してください。
- 「受験手続依頼書（受験届）」と一致していれば、「確認しました」用紙を渡します。
 - ・プリントアウトした「確認用紙」は中学校で保管します。

※支払いが終わったら「受験料支払い確認書」を提出してください。**18日（木）**しめ切り

- 中学校での確認後、受験料を支払ったら、「確認しました」用紙の下にある「受験料支払い確認書」へ支払った日をお家の方に記入してもらい中学校へ提出してください。（三重県立前期選抜は証紙かカードで支払いが終わっているので記入してもらう必要はありません）
- 「確認しました」用紙はクリアファイルに入れたままにしておきます。

※「登録データ確認用紙」「受験手続依頼書（受験届）」について

- 受け取るすべての学校で「確認用紙」を提出できたら、返却せず中学校で保管します。

※支払いの手続きが終了したら、封筒とクリアファイルは中学校で保管します

- 「封筒とクリアファイルが返却されない=支払いまでの手続きが終了した」ということです。
- 提出するものがなくなったのに手もとに封筒とクリアファイルを持っているときは、封筒とクリアファイルを空のまま中学校へ戻してください。

以前の願書は手書きで、お家の方が書くこともありましたが、ほとんどは本人が書いていました。現在はWeb出願となりお家の方で入力してもらうことが多いかもしれません。もし、お家の方で入力してもらっていたとすると、みなさんは横で一緒に見ていましたか？自分が行くかもしれない学校なのに他人事のように「全部やっておいて」「なんでまだ入力していないの」などと言っていたとしたら間違いです。お家の方も忙しいので期限のあるものについては早めに話をするようにして、少しでも不安なく過ごせるようにしましょう。

理由があって期限を守れそうにないときは担任の先生へ申し出てください。個別に対応していきます。一方、無断で手続きしていない場合については、声を掛けるようにしますが、受けられないことがあってもそれは自己責任でお願いします。絶対にミスをしてはいけないことなので、全員がそろって手続きすることをお願いしています。

◆出願書類について、何度も確認していきます

「確認用紙」の提出では2人の先生で確認するようにしています。時間が足りない中での確認になっているのが現状ですが、あわてることがないように気をつけています。この後は学校ごとに出願書類をまとめて、そこでも確認をします。その確認で気づくこともありますので、個別で対応していくことになります。

自己推薦書や作文についても担任の先生を中心に添削をしています。一生懸命に書いたものに何かを言われると、良い気持ちになれないかもしれませんか、より良いものにしようと先生たちも一生懸命に見ています。みなさんもより良くしたいから提出しているはずです。中には、もう一度書くことになったときに「えーっ」「なんで」という態度をとってしまう人がいるかもしれません。納得がいかないのであれば、「自分が伝えたいことは何か」、「なぜこの文章だと伝わらないのか」、「どのようにすると気持ちが伝わるのか」をよく話し合ってください。

このように言葉にして話し合って理解することは普段の生活でも必要なことです。なかまと日本語で話して通じているようにみえても、気持ちが伝わっていないことがあります。SNS上ならなおさら通じることは難しいです。自己推薦書や作文は受験（受検）のためのものですが、自分の気持ちを相手に伝えるために取り組んでもらいたいです。

◆面接と作文

・面接練習

6限目の時間に面接の時間を設定します。内容や練習場所などはその都度連絡します。この時間だけで面接ができるようになるわけではありません。普段の行動でも意識するようしましょう。必要であれば、指定した時間以外でも練習をしてください。教科の学習をせずに面接の練習ばかりするのでは意味がありません。教科の学習も忘れずにきちんと続けていきましょう。

・作文練習

作文の練習は担任の先生と相談しながら各自で進めてください。決められた時間に決められた文字数を書くだけでも大変な人は、日記を書くなどして文章を書く習慣をつけましょう。文字数を書けるようになったら、自分の考えが相手に伝わることを意識して書いてみると良いと思います。もちろん、教科の学習も忘れずにきちんと続けていきましょう。